



みんなが主役! みんなでつくる 人にやさしいまち横手

横手市

社協だより

62号
2018.8.1

横手市社会福祉協議会

福祉活動に“花”が咲く



7月10日(火)、植田小学校の児童と十文字中学校の生徒が、植田地域に住む70歳以上のお一人暮らしの高齢者へ花のプランターと手紙をお届けしました。

植田小学校では「地域に元気を届けようプロジェクト」と題し、地区の民生児童委員の協力を得ながら年間を通して様々な福祉活動に取り組んでおり、この日は中学校と合同でコースミラーや地域のお地蔵さま、公園などの清掃も行いました。

高齢者からは「近くに来たときはいつでも花を見に寄ってね」と言葉をかけていただくなど、地域の高齢者と子供たちとの間に新たな絆が生まれました。

平成29年度 事業報告

社会福祉協議会では、地域の皆様のご理解とご支援をいただきながら「誰もが安心して暮らすことができる地域づくり」を目標に、地域福祉事業や介護保険事業に取り組みました。

主な取り組み

平成29年度 収支決算書

(単位:円)

科目	決算額
社協会費	17,075,150
寄附金収入	2,032,158
経常経費補助金収入	14,227,514
受託金収入	157,564,279
貸付事業収入(償還金)	266,000
事業収入	8,076,420
介護保険事業収入	1,595,653,690
老人福祉事業収入	19,436,552
障害福祉サービス等事業収入	26,582,310
売店事業収入	22,986,266
受取利息配当金収入	72,178
事業活動によるその他の収入	9,137,951
施設整備等による収入	69,281,640
その他の活動による収入	30,205,623
前期末支払資金残高	667,544,292
収入合計 ①	2,640,142,023

科目	決算額
人件費支出(退職金含む)	1,383,119,986
事業費支出	324,726,274
事務費支出	67,707,132
売店事業支出	19,154,477
利用者負担軽減額	330,437
貸付事業支出	80,000
共同募金配分金事業費	15,669
分担金支出	113,200
助成金支出	9,614,000
負担金支出	1,942,600
事業活動によるその他の支出	4,940
施設整備等による支出	149,686,060
その他の活動による支出	68,191,428
支出合計 ②	2,024,686,203
当期末支払資金残高 ①-② (次年度繰越金)	615,455,820



食糧支援セット (お米、レトルト食品、お菓子など)

市役所本庁舎一階の「くらしの相談窓口」で生活や仕事などの一八〇件の相談に対応したほか、地域の皆様やフードバンクあきた並びにコープあきたからの食品提供により、生活に困窮されている世帯などへの食糧支援を延二十三回行いました。

暮らしに関する相談への対応と食糧支援

今回紹介した取り組みのほかに、地域の交流活動の推進やボランティア活動の活性化、各種介護サービスなどを行いました。なお、詳しい事業報告や決算状況については本会のホームページでご確認いただけます。



地域で支えあうまちづくり研修会2017

支えあいによる生活支援や介護予防の推進

地域の支えあいを基盤とした高齢者の生活支援及び介護予防を進めるため、各協議体による話し合いを延七十回開催し、地域の実情に応じた様々な取り組みを行いました。また、十二月十六日に開催した「地域の居場所や集いの場」をテーマとした研修会には一二〇名にご参加いただき、市内の事例や講演などを基に地域のつながりなどについて考えていただきました。



通所介護事業所 (ボランティア来所の様子)

介護サービスの提供 (通所介護事業)

五つの通所介護事業所(デイサービス)を延四、七七五名の方に計三三、八〇七回ご利用いただき、ご利用者が安心して在宅生活を送れるよう、心身の状態に合わせた食事や入浴、機能訓練などのサービスを提供しました。

災害ボランティア活動の推進

昨年七月の大雨災害に伴い災害ボランティアアセンターを設置し、被災した方々や地域を支援するため、延五九六名(美人数三二八人)のボランティアを派遣し、延一一件の片づけや清掃などの活動を行いました。



ボランティアによる災害支援活動

小ネットワーク会議の開催

市内の一〇一地区を対象に会議を計七十一回開催し、地域住民や福祉関係者・団体、町内会、市職員など五〇一名の参加により、地域の見守り・支えあい活動や課題の確認、必要な支援活動の実践に向けた話し合いなどを行いました。



小ネットワーク会議 (平鹿地域の様子)

学校や地域の福祉教育活動の推進

申請のあった市内小・中学校、高校、特別支援学校の計二十二校を福祉教育活動推進校として指定し、助成金の交付や体験学習の調整及び指導などの活動支援を行いました。また、推進校以外の学校や公民館、企業で福祉に関する出前講座を十一回開催しました。



高齢者や障がい者の疑似体験学習

かいごカフェの開催

ボランティアの協力を得て十回開催し、延一六五人(ボランティア等含む)にご参加いただき、交流や介護情報の提供、介護者のリフレッシュを目的とした催し物などを行いました。



かいごカフェ (寸劇「認知症の方への対応のしかた」の様子)



平鹿

樋ノ口
いきいきサロン

チャレンジデーにサロンを開催し、会館周辺のウォーキングや体操などで良い汗を流しました。他の日はふれあいバスを利用して移動サロンを開催するなど、みんなで行う運動や食事、会話は参加者を笑顔にしています。これからも健康な老後の支えになれる楽しい場所でありたいと思っています。



大森

十日町
いきいきサロン

昨年十月に立ち上がったサロンですが、地域の居場所として定着しています。福祉を考える内容を開催した際は、地域交流の大切さや自ら実践できることなど、参加者から様々な考えや意見が出ました。これからも、楽しみながらも地域に目を向け続けていきます。



山内

サロン後

このサロンは自治会の協力のもと立ち上がりました。世話人を中心に工夫を凝らして、皆さんが参加しやすい雰囲気づくりに努めています。運動や健康づくり講習会、お祭りなど、身近なつどいの場として、これからもたくさんの方々に来ていただけるよう活動していきます。



第13回 高齢者健康福祉まつり

老人クラブ三大運動「健康・友愛・奉仕」の一助として、7.5(水)/秋田ふさと村健康や生きがいがづくり、社会参加を目的に、健康福祉まつりが開催されました。会員など約600名が来場する中、外部講師による健康落語や会員による芸能発表などを行いました。



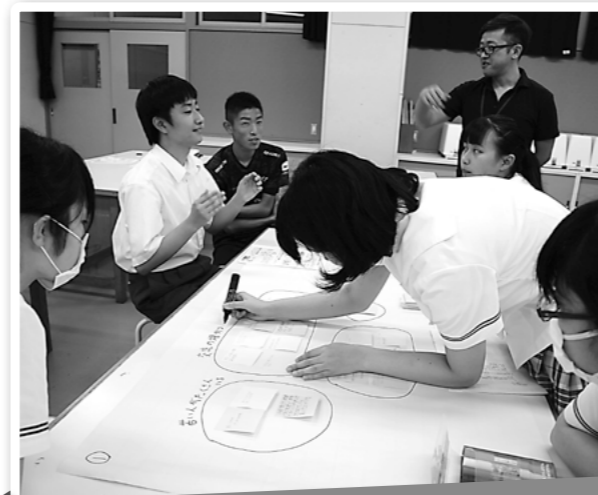
平寿苑夏祭り

夏の思い出 平寿苑で保育園児の踊りや楽器演奏、打ち上げ花火などの内容で夏祭りが開催されました。ご利用者は来苑されたご家族や地域の方々と一緒に夏の思い出をつくることができました。



憩寿園で花植え活動

花と一緒に笑顔も満開に 憩寿園でご利用者が実習で来園していた増田高校の生徒と一緒に花壇やプランターに花の苗を植え、「昔なんぼもやってらった」とご利用者は苗植えの腕前を笑顔で披露してくれました。



福祉出前事業(家庭クラブ)

柔軟な発想で住みやすい地域を考える 雄物川高校の生徒が近隣交流や居場所の大切さを学んだほか、安心して暮らせる地域づくりについて考え、オンラインショップの充実など柔軟な発想で様々な意見が出されました。



福祉出前事業(総合的な学習)

福祉を考えるきっかけに 朝倉小学校4年生を対象に聴覚障がい者の方の講話や手話体験などを行いました。児童は、生活の大変さや思いなどに触れ、自分たちにできる事を考えるきっかけになりました。



ミニデイでブレスレット作り

創作活動で指先と脳の運動 大雄地域のミニデイで様々なビーズを使いブレスレットを作りました。皆さん配色を考えながら作業に集中し、出来上がったブレスレットを嬉しそうに手首に飾っていました。

善意

ありがとうございました 平成30年5月16日～平成30年7月15日受付分
善意は寄付金や物品等をお寄せいただいた皆様、ボランティア活動にお越しいただいた皆様をご紹介します。

【本部受付】

- 横手建設(株)様
- 協同組合横手卸センター様
- ハイレンデムジーク様
- 秋田ふるさと農業協同組合様

【横手福祉センター受付】

- 安藤 詔子様 (上真山)
- 鈴木 由紀子様 (平鹿・浅舞)
- 三梨 敦子様 (南町)
- いちご会様
- おはなし大すきの会様
- 金沢民謡同好会様
- 大森コーラス露様
- 横手市勤労者互助会女性部様
- とっぴんぱらりのプー様
- 朝友会様
- 玉川遠州流前田社中様
- 新日本舞踊扇佳流優仙会様

【雄物川福祉センター受付】

- 雄物川地域
老人クラブ連合会様

【十文字福祉センター受付】

- 十文字ライオンズクラブ様

- 朝友会様
- アンダンテの会様

【大雄福祉センター受付】

- JA秋田ふるさと
女性部大雄支部様

【平寿苑受付】

- アンダンテの会様
- 平鹿町理容組合様
- すえひろ歯科医院様
- (有)細川商店様

【雄水苑受付】

- たかはらてるお様 (横手・安田)
- 佐藤 圭子様 (東里)
- 傾聴ボランティア「ひまわり」様
- アンダンテの会様
- 雄物川手話サークル様
- 雄物川地域老人クラブ連合会様
- とっぴんぱらりのプー様
- 雄川大学様
- 雄物川町美容組合様

【憩寿園受付】

- 神原 實様 (西上)
- 十文字ライオンズクラブ様
- 傾聴ボランティアささやき様
- スーパーモールラッキー様



協同組合横手卸センター様より
ご寄付をいただきました



秋田ふるさと農業協同組合様より介護用
ベッドを寄贈いただきました

生活支援体制 整備事業

みんながいきいきと暮らせる

支えあいの地域づくり 第6回

山内地域生活支援協議体「さんない生活支えあいたい」の取り組み

自治会役員や民生委員、いきいきサロン世話人等、福祉活動に携わる方々が集まる小ネットワーク会議を通して生活課題を把握・分析した結果から、協議体では次のような取り組みを行っています。

主な取り組み

- 小ネットワーク会議等を通じた地域の支えあい活動や生活課題等の把握
- 地域に合った移動手段の周知活動

生活課題の把握と移動手段の周知

地域の皆さんが感じている生活課題を確認したところ、「移動が不便で将来的にも不安」との意見が多かったため、協議体では公共交通機関やデマンド交通、コミュニティバス等の様々な移動方法がある中から、その地区に最も適していると思われる移動方法を、いきいきサロンの機会にあわせて周知しています。

今後は他地域で行われている支えあい活動も参考にしながら、更なる支援方法の検討を行っていきます。



移動手段説明の様子(軽井沢いきいきサロン)



認知症や様々な障がいなどにより判断能力が不十分になることで、自分一人の判断で必要なサービスの利用手続きや様々な契約をすることが不安になったり、日常生活に必要な公共料金の支払い方がわからないなど、お金の管理に困ってしまう場合があります。

そのようなとき、日常生活自立支援事業を利用することで福祉サービスの利用や契約の援助、金銭管理などを行うことができます。今回は金銭管理に悩み相談された方の事例を紹介いたします。

困りごとがありましたら、最寄りの福祉センターへお聴かせください。

相談者は六十代女性。母親と二人暮らしでしたが、家計を管理していた母親が亡くなり、計画的にお金を使うことが難しく、生活に困り相談に訪れました。

本人は足が不自由で知的障がいがあり、障害年金を受給していましたが、今後自宅での生活を希望していたので、専門機関が集まり、話し合いを行いました。

自宅で生活するには十分な障害年金を受給していたほか、訪問介護サービスの利用が必要だったので、福祉サービスの利用援助と金銭管理のため「日常生活自立支援事業」を利用することにしました。

通帳を社協で管理し、定期的に生活支援員が訪問して、近況確認や本人の希望を汲みながらお小遣いを渡しているほか、入浴や生活に必要な買い物などは訪問介護サービスを利用していきます。

現在は、少しずつですが貯金もたまり、好きな歌手のCDを買うなどの楽しみも増えています。

ふくし川柳

福祉を詠めば福来たる
テーマ 楽しみ

- 一、二人して 苦樂乗り越え 今笑顔
淡路鉄 夫さん/横手
- 一、楽しみや 孫とひ孫の 訪ねる日
鈴木 友枝さん/大森
- 一、温泉で 元気になって 半端ない
高田 タツノさん/大森
- 一、朝早く 野菜にあいさつ 楽しみで
ペンネームむらさきさん/大森
- 一、同期会 八十の顔も 皆笑顔
福嶋 テツ子さん/大森
- 一、わずかでも はいる年金 楽しみに
斉藤 正子さん/大森
- 一、楽しみに 種まき日付に マル印
ペンネームペア子さん/大森

たくさんのご応募ありがとうございました

次号(10月1日発行予定)
テーマは…「秘訣」

いつまでも健康でいるための秘訣を川柳にしてみませんか? 次回のテーマは「秘訣」です。

【応募方法】

作品(1人2点まで)と氏名(ペンネーム可)、連絡先をご記入の上、ハガキやFAX、メール等でご応募ください。(様式は問いません)

〒013-0072
横手市卸町5-10
横手市社会福祉協議会
「ふくし川柳」係
FAX: 36-5388
e-mail: tiiki@yokote-shakyo.jp

【締切日】

平成30年9月14日(金)

狙半内共助運営体 増田



送迎車両の中で地域コミュニティが生まれています

地域から冬期間の雪下ろしや移動手段などで困っているとの声が多くあり、平成24年9月に県、市、県南NPOセンターなどの支援を受け、地域組織の代表を構成員として「狙半内共助運営体」が設立されました。

設立当初から行っている通院支援や市内企業の協力による買い物支援、屋根の雪下ろしなどにより共助運営体の実績を重ねてきました。昨年11月からは横手市の委託を受けて、狙半内地域から十文字地域までの区間をワゴン車で有償送迎する実証実験を行っています。

代表の奥山良治さんは「市と協議を重ね、利用

しやすい“地域の足”になるよう、改善しながら運営をしてきた結果、毎月利用者が増え続けている。共助運営体は、狙半内地域はもちろんのこと地域外からの多くの協力があり、家族の理解もあるので、とても恵まれた環境で活動ができています。狙半内地域全体にコミュニケーションの場が広がるのが何よりも嬉しい。」と話されていました。

地域の皆さんの後押しを受けて、今後いろいろな挑戦を続けていくことでしょう。

相談所のお知らせ 9~10月

● 無料法律相談所日程

※3日前までに予約が必要。お一人30分まで

- ▶ 9月5日(水) 13:00~15:00
Y²ぷらざ 3階 ☎33-8668
- ▶ 9月10日(月) 10:00~12:00
平鹿町ゆとり館 ☎24-3283
- ▶ 9月21日(金) 10:00~12:00
大森コミュニティセンター
☎26-3274
- ▶ 10月3日(水) 13:00~15:00
Y²ぷらざ 3階 ☎33-8668
- ▶ 10月15日(月) 10:00~12:00
大雄地域福祉センター ☎52-3311
- ▶ 10月24日(水) 10:00~12:00
十文字町健康福祉センター
☎42-5858

● 無料税務相談所日程 ※予約不要

- ▶ 9月13日(木)、10月11日(木)
9:30~12:00
Y²ぷらざ 3階 ☎33-8668

- ◆日時/毎週土曜日の午後4時~午後6時
- ◆会場/横手市中央公民館(横手市女性センター)
- ◆対象者/小学校1年生から高校3年生まで
- ◆参加費/無料

学びや横手(無料学習支援)の生徒募集

お知らせ

様々な理由で学校や塾などに行くことができないけれども、将来に向けて自主的に勉強したい児童生徒を募集しています。

◆支援内容/授業や勉強でわからなかったところを質問形式のマンツーマンで教えてくれます。

- ◆その他/利用には事前の申し込みが必要です
- ◆児童生徒の学習サポートや話し相手になってくれる教員OB・OGなども募集しています。
- ◆問い合わせ/本部地域福祉課 ☎36-53377

フードドライブへの
ご協力をお願いします

生活困窮世帯などに食品をお届けするフードドライブ事業を実施しています。常温で保存できる、消費期限が1か月以上先の食品がご自宅にありましたら、是非お寄せください。

◆受付・問い合わせ/最寄りの各福祉センターまたは本部地域福祉課 ☎36-53377まで

社会福祉協議会は、住民の皆様の参加と関係機関・団体との協力により「住みよい福祉のまちづくり」を進める、社会福祉法(第109条)に定められた民間団体です。

■横手市社会福祉協議会本部 TEL.36-5377

横手福祉センター TEL.33-8668
増田福祉センター TEL.45-4848
平鹿福祉センター TEL.24-3283
雄物川福祉センター TEL.56-2072

大森福祉センター TEL.26-3274
十文字福祉センター TEL.42-5858
山内福祉センター TEL.53-3009
大雄福祉センター TEL.52-3311

(市外局番 0182)

特別養護老人ホーム平寿苑 TEL.38-7011
特別養護老人ホーム雄水苑 TEL.22-4561
特別養護老人ホーム憩寿園 TEL.42-2510
横手市くらしの相談窓口 TEL.32-6101

横手市社協だより ●発行●横手市社会福祉協議会 〒013-0072 横手市卸町5番10号 TEL.36-5377 FAX.36-5388

E-mail honbu@yokote-shakyo.jp

ホームページ <http://www.yokote-shakyo.jp/>

横手市社協

検索